

# 校内研だより



令和4年6月24日(金)  
研究推進部  
No.8

## 1 臨時校内研究会を終えて

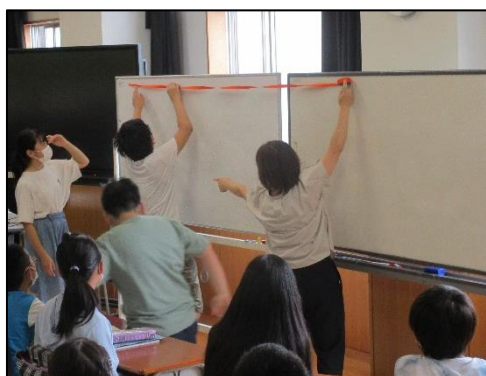
移動教室の次の日でしたが、真剣に取り組んでくださりありがとうございました。「見方・考え方」は難しい部分が多いですが、「困った時の灯台」ぐらいで考えていただくとありがたいです。今後も一緒に学んでいきましょう！



## 2 研究授業①を終えて

(1) 本時 <長い歴史学習スタート!の1時間>

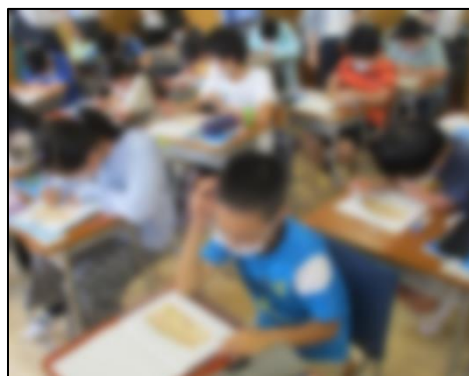
○日本人のルーツから縄文時代へと注目していく



「私たちの祖先はどこから？」をスタートに、等尺年表や資料を使いながら日本人の祖先を探りました。迫力満点の等尺年表と素直な子供たちで、学級の雰囲気がよく伝わってきましたね。大楽先生のPCに対する焦りは見なかったことにして…。

○「絵資料」を通して、くらしを調べる

事前学習も生かしながら、縄文時代に着目。歴史分野ならではの「絵資料」を使って調べ活動です。「アリの目」「タカの目」の二つの視点をもっていると、具体と抽象の行き来ができて学びが深まります。この時に見方・考え方が働いていた…のかは、ぼくらは勉強を続けたいといけませんね。



○動画で調べたことを根拠づけていく



絵資料だけでは「推論」の域を出ませんので、NHKの動画を活用して、調べ活動を続けます。短いとはいえ、音声資料は再構成が難しいですが、子供たちがよくできていました。一昨年度からの積み重ねがよく見えた活動場面でした。

○理由を話し合い、振り返りを次時へと生かしていく

縄文時代の長さを、自分や一小、江戸時代と比較することで自然と「なんでこんなに長いのか？」と問題意識が湧いてきます。これまでの学習を生かして話し合いが進みます。講師の先生からは、問いをもう少し、柔らかくしてもいいのではないかとご指導いただきました。検討していきたいですね。

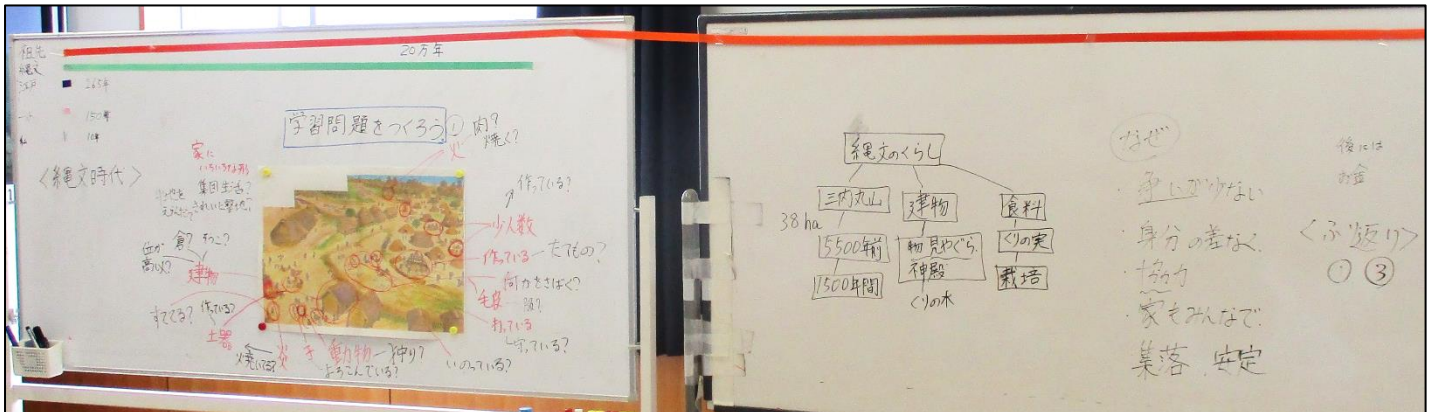


○研究協議会



先生方もよく話し合っ  
て、学び合いました。  
自分事として感じにくい  
歴史学習ですが、地域  
学習や学習活動を工夫  
することで、改善できま  
す。自分の国のことを自  
分の言葉で語れるよう  
に、指導していきたいで  
すね。詳しくは、記録を  
参照してください。

○板書



## (2) その他

○データ

- ・授業記録、研究協議会記録はクラスルームで配信しています。今後の参考にしてください。

○講師の吉村潔先生から

- ☆地域教材を大切に！
- ☆本時のゴールに見合った問いを！
- ☆主体性と指導性のバランス！



出張の変更を快く引き受けてくださった副校長先生、突然のお願いにもかかわらずステキな謝辞を述べてくださった板澤先生、本当にありがとうございました！



○授業者から

ご指導ありがとうございました。学年で話し合い、笠原先生を始め、都小社研の方々にも入っていただき、検討を重ねてきました。今まで歴史分野では、教え込みの教師主導型の授業をしていましたが、絵資料をじっくり見て、自ら気付き、子供たち同士で討論していくなど、主体的に学んでいくことの大切さを実感しました。教師がしゃべらないよう意識し、発問を精選しながら、これからも私自身学び続けていきたいと思ひます。

### 3 その他

☆振り返りについて学年で話してみてください。

☆ペーパーレス活動にご協力をお願いします。

☆29日(水) 指導室訪問 **研究だより**⑨

☆ 4日(月) B部会 (各学年の進捗、研究授業の準備)

☆ 5日(火) 研究授業 (梅の実) **研究だより**⑩

☆19日(火) B部会 (今後の予定、夏にやること)